

9 横山地域

横山地域は、海岸部や小川、田園などの自然環境が保全されており、また、横山地区には拠点集落が形成されているなど、良好な自然環境と集落環境が共生した地域です。国道8号沿道には商業・業務施設が立地しており、地域外にアクセスするための重要な道路となっています。

人口・世帯数の動向

平成22年現在の人口は1,646人、世帯数は506世帯で、人口は減少傾向、世帯数は増加傾向から平成22年に減少へと転じています。



少子・高齢化の傾向

本地域の年少人口(0～14歳)、生産人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)いずれも、町平均とほぼ同水準となっています。



土地利用現況

地域の北部には、日本海に面した古くからの集落(横山地区)が形成され、また、(主)入善朝日線等の道路に沿って住宅等が立地しています。

地域の中央部には、入善勤労総合スポーツ施設(サン・ビレッジ入善)、横山保育所、漁業センターなどの公共施設が集積しています。

広域幹線道路である国道8号沿道には、商業・業務施設が立地しています。

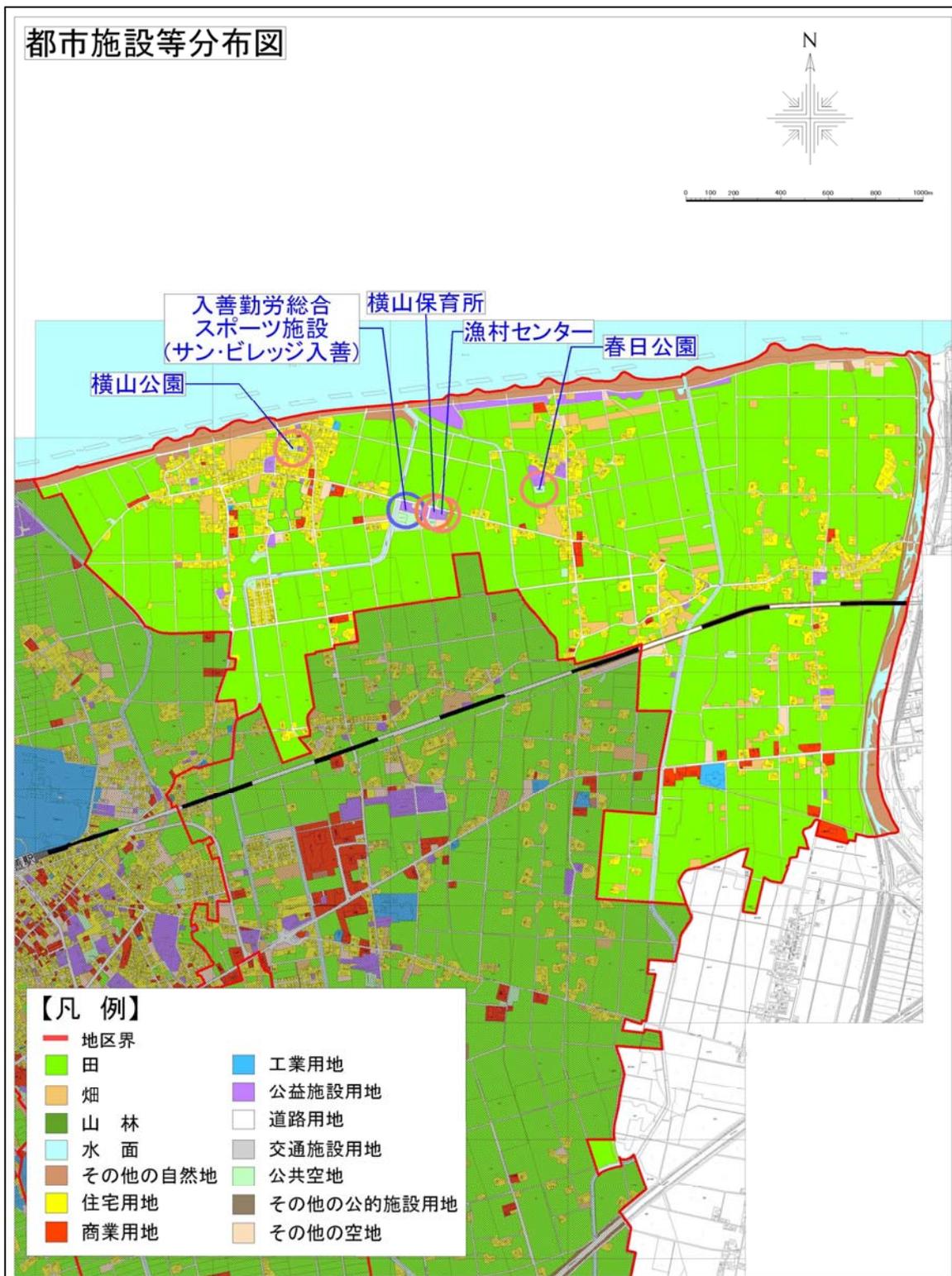
地域全域にわたり、黒部川扇状地の肥沃な土壌を活かした優良農地が広範囲に分布しています。

都市基盤整備状況

国道8号、(主)入善朝日線が東西方向の主要な幹線道路として重要な役割を担っています。幹線道路となる国道8号などの東西方向の道路と連絡する南北方向の道路が脆弱であり、安全・快適な交通環境が十分に確保されていません。

住宅地や集落内に、横山公園、春日公園が整備されています。

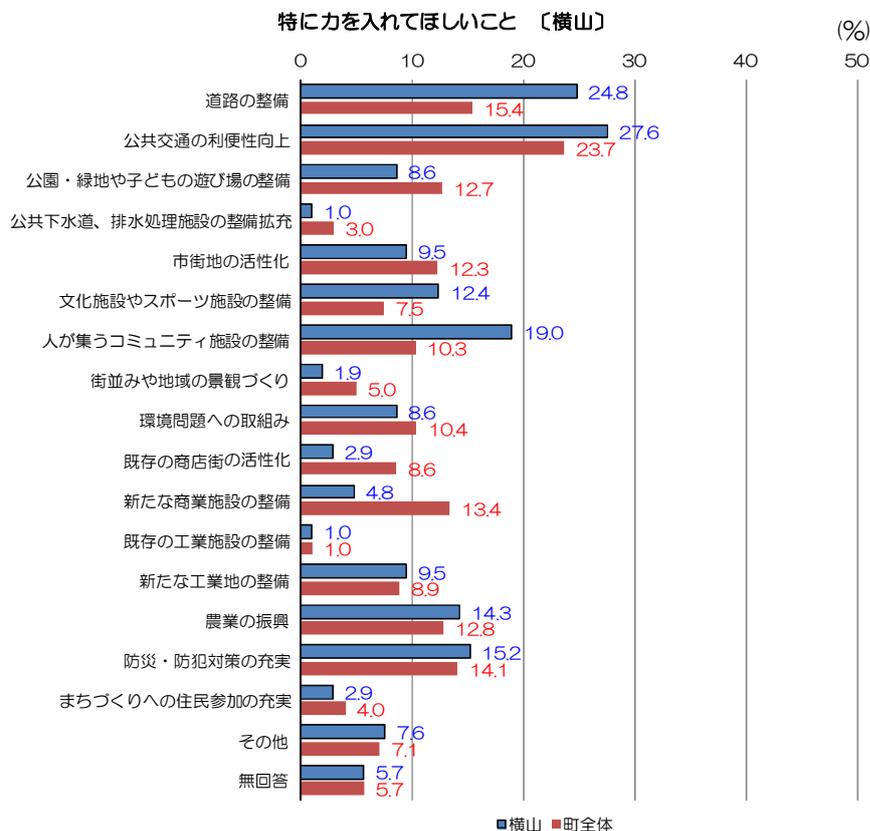
| 主な都市施設分布状況 | |
|-------------|-------------------------|
| 行政・コミュニティ施設 | 横山公園、春日公園 |
| 福祉施設 | 横山保育所 |
| 教育施設 | |
| スポーツ・文化施設 | 入善勤労総合スポーツ施設(サン・ビレッジ入善) |
| その他の施設 | |



■ アンケート調査結果、まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

● アンケート調査結果(地域において特に力を入れてほしいこと)

- ・ 本地域の住民が特に力を入れてほしいと感じていることは「公共交通の利便性向上：27.6% (1位)」、「道路の整備：24.8% (2位)」、「人が集うコミュニティ施設の整備：19.0% (3位)」であり、アクセス機能の向上を求める要望が挙げられています。



● まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

| |
|---|
| (H18) 漁村センターにバリアフリーに対応した多目的ホールの設置を要望 |
| (H18) 漁村センターと保育所が連携して活動できるような整備促進を要望 |
| (H18) 子育て支援の充実を要望 |
| (H19) 漁村センターを核とした地域中核ゾーンの一体整備を要望 |
| (H19) ウォーキングコース「シーライン(仮称)」の設置要望 |
| (H19) 防災・防犯体制の強化を要望 |
| (H19) 町の資源である豊かな水と広大な土地を有効に活用し、積極的に企業誘致に取り組むことを要望 |
| (H19) 海岸線に点在する地域資源を遊歩道で結ぶ「渚サンポ - 口(仮称)」創設による海岸線の有効活用を要望 |
| (H20, H21) 地区中核施設「漁村センター」のリニューアルを要望 |
| (H20, H21) ウォーキングコース横山「シーライン」の設置を要望 |
| (H20, H21) 通学路の安全確保を要望 |
| (H22) 横山消防屯所から国道8号までの区間を主要アクセス道路として、消雪や歩道もある拡福された総合的道路に整備 |
| (H22) 特別養護老人ホームの拡充 |

■まちづくりの課題

（土地利用の課題）

横山地区の既存集落については、古くからの面影を残しつつ、集落環境の維持・向上に向けた適正な土地利用を誘導する必要があります。

地域住民の交流の場となる施設が老朽化し、耐震性が不足しているため、地域住民の意向を踏まえながら、地域の核となるコミュニティ施設を再整備する必要があります。

（都市基盤整備の課題）

地域北部の既存集落、隣接市町間のアクセス性の向上を図るため、JR北陸本線以北における東西方向を連絡する道路機能を強化・充実する必要があります。

地域内の各所から、東西方向の幹線道路である国道8号等へのアクセス性の向上を図るため、これらに接続する南北方向の道路機能を強化・充実する必要があります。

（その他の社会環境上の課題）

地域住民の安全性の向上を図るため、海岸部や河川の水害などに対する住民の防災意識の向上をはじめとした防災対策を推進する必要があります。

■まちづくりの方針【横山地域】

1. 将来目標

自然や田園と調和した良好な集落環境の維持

横山地域は、朝日町との境界に流れる小川沿いの自然環境や、黒部川扇状地に広がる田園と調和した良好な集落環境の維持を図るとともに、地域住民の生活の利便性を向上するため、南北方向の交通基盤の整備などを推進します。

2. 土地利用の方針

(地域拠点の形成と集落環境の維持・改善)

- ・日本海に面する横山地区には、古くからの面影を残す集落が形成されており、特有の環境の維持及び定住化を推進します。
- ・災害時の避難場所やコミュニティ向上の拠点とするため、老朽化の進む地区交流センターの再構築または施設機能の充実を図ります。
- ・地域内の安全・安心な歩行環境の形成のための道路機能の強化や、地域住民が憩える公園の整備、消防水利の充実を図ります。



横山地区

(田園の保全と集落環境の維持・向上)

- ・優良農地の保全、また、田園と調和した集落環境の維持・向上を推進するため、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

(交流の場となる海岸線の整備)

- ・連続した良好な海岸景観を保全するため、防災林の整備を推進します。
- ・横山地域の北部に連続する海岸線については、良好な眺望景観を確保するとともに、人々が楽しみ、交流できる空間としての整備を検討します。

(無秩序な開発を抑制した計画的な沿道利用)

- ・国道8号には、既に産業等の沿道利用施設が点在していますが、地域住民の利便性を確保する一方、農地保全の観点から、無秩序な開発を抑制するとともに、地区計画等の導入などにより、産業・沿道サービス施設の計画的な立地を推進していきます。

3. 都市施設整備の方針

(1) 道路整備の方針

(東西方向を連絡する広域幹線道路の維持・整備)

- ・国道8号及び国道8号バイパスは、沿道において今後も沿道サービス施設や企業立地の進展により、交通需要の変化が想定されることから、安全で快適な走行性が確保された道路機能の維持を図ります。
- ・湾岸道路は、JR北陸本線以北の東西方向を連絡する広域幹線道路であり、隣接市町、入善町内の既存集落を連絡する道路として整備促進に向けて検討します。

(地域住民の日常生活に密着した道路整備)

- ・ (主)入善朝日線、横山栲山線などは、地域住民の日常生活に密着した道路であることから、道路機能の向上・充実に向けた整備を促進します。
- ・ 横山地域の東西方向の広域幹線道路である国道8号にアクセスする南北方向の道路機能の向上・充実を図ります。
- ・ JR北陸本線等で分断される集落を連絡する道路交通について、円滑な横断が可能となるよう、道路機能強化の方向性を検討します。

(2) 公共交通の方針

(町営バスの利便性向上)

- ・ 町営バスは、今後の利用動向を見極めながら、必要に応じ、柔軟に対応することで、地域住民にとってより利便性の高い運行を行います。

(3) 公園・緑地の方針

(既設公園の保全・活用)

- ・ 横山公園、春日公園など、地域住民の憩いの場となる既設公園は、今後も施設や遊具の適切な維持管理を推進します。

4. 環境共生型の都市づくりの方針

(小川特有の生態系・環境等の保全)

- ・ 小川左岸に位置する横山地域については、小川の自然と共生した地域とするため、小川特有の生態系と環境、水質の保全などを図ります。

(緑豊かな都市環境の形成)

- ・ 住宅地や集落内にある横山公園、春日公園などの既設の公園整備などにより、緑豊かな都市環境の形成を図ります。

5. 都市景観形成の方針

(海岸景観の保全)

- ・ 日本海に面する海岸線の良好な景観を保全するため、防災林の保全、海岸の清掃活動、眺望場所の保全などを推進します。

(小川の潤いある河川景観の保全)

- ・ 小川の潤いある河川景観を保全するため、河川周辺の緑化、清掃活動などを推進していきます。



海岸線の良好な景観

(海岸や田園と調和した集落景観の保全)

- ・ 日本海に面し、古くからの面影を残す横山地区は、海岸や田園などの自然景観と調和した集落景観を保全するため、無秩序な開発を抑制し、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

(沿道における建築物や屋外広告物の規制誘導)

- ・ 国道8号沿道は、既に商業・工業施設が立地していますが、良好な沿道景観を形成するため、経済活動に影響を与えないよう配慮しつつ、建築物や屋外広告物の規制誘導を推進します。

6. 安全・安心な都市づくりの方針

(海岸・河川等の水害対策と地域住民の意識向上)

- ・ 入善海岸高波災害を教訓とし、横山地区など、海岸部の防災対策を強化するとともに、小川の洪水及び浸水災害等の防止対策を推進します。
- ・ 関係機関との連携強化による水害対策事業の推進や、入善町防災マップ、洪水ハザードマップ等の周知徹底、海岸高波対応演習など、地域住民の災害に対する意識の向上を図ります。



津波避難訓練

(避難場所の拡充・機能強化と避難路の確保)

- ・ 横山公園、春日公園などの公園機能を充実するとともに、サン・ビレッジ入善など、備蓄機能の確保等により、避難場所としての機能強化を図ります。
- ・ 災害時に地域住民が避難場所まで安全に避難できるよう、歩車道の分離、段差や狭あい道路の解消、避難経路における建築物・工作物の耐震強化などの適切な措置を推進します。



上空からの眺め

横山地域 まちづくり方針図



古くからの面影を残す横山地区の集落



連続した良好な海岸景観

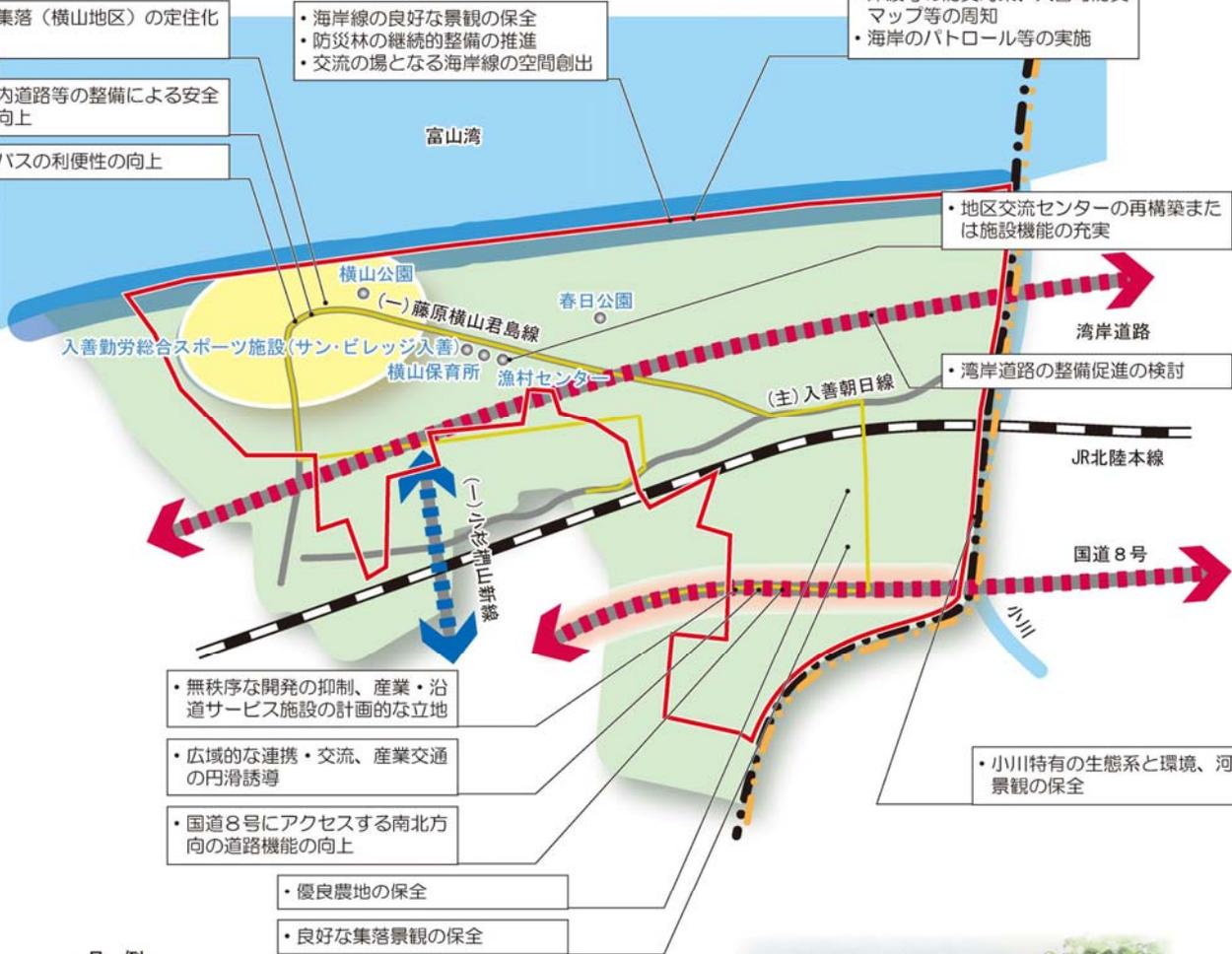
- 拠点集落（横山地区）の定住化促進

- 地区内道路等の整備による安全性の向上

- 町営バスの利便性の向上

- 海岸線の良好な景観の保全
- 防災林の継続的整備の推進
- 交流の場となる海岸線の空間創出

- 津波等の防災対策、入善町防災マップ等の周知
- 海岸のパトロール等の実施



凡例

- 住宅地区（拠点集落）
- 農業環境保全地区
- 海浜レクリエーション地区
- 沿道利用誘導地区
- 広域幹線道路
- 主要幹線道路
- バス路線
- 地域界
- 行政界
- 都市計画区域



町営バスの利用促進